

企画書

子どもがつくるまち・ミニいちかわ2015

●● 「子どもがつくるまち・ミニいちかわ」は、市内2か所で開催します ●●

「子どもがつくるまち・ミニいちかわ」

By 行徳駅前公園



「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ」

by 千葉県立現代産業科学館



ミニいちかわ

<日程・開催場所>

◆ 2015年 10/3(土)・10/4(日)

10:00~15:30

行徳駅前公園

◆ 4歳~18歳の子ども

(青年~大人はスタッフとして参加)

◆ 小学生以上...当日自由参加

幼児...事前申し込み

◆ 材料費として2日間で300円

スタッフは無料

助成：子どもゆめ基金

ミニ☆いちかわ

<日程・開催場所>

◆ 2015年 9/26(土)・9/27(日)

10:00~15:30

千葉県立現代産業科学館

◆ 5歳~18歳の子ども

(青年~大人はスタッフとして参加)

◆ 小学生以上...往復はがきでの事前申し込み

幼児...事前申し込み

◆ 材料費として2日間で500円

スタッフは無料

共催：千葉県立現代産業科学館

助成：市川市1%支援対象事業

後援：市川市・市川市教育委員会・市川市 PTA 連絡協議会・市川市青少年相談員連絡協議会市川市
子ども会育成会連絡協議会・(特)市川市ボランティア協会・一般社団法人市川青年会議所
(株) ジェイコム市川 (一部申請中)

1、目的

- ・子ども参画の活動をつくる中で、子どものコミュニケーション力を育み、達成感や自己肯定感を持てるようになることを目的とする。
- ・子どもの力を信頼し見守ることができる大人が増えることで、子どもが生き活きと豊かに育つ地域づくりを目的とする。

2、期待される効果

- ・指示待ち、意欲がない、人と関わるのが苦手という若者が多い現状の中、子どもたちはこの活動で自主性が育まれ、自立した若者へと成長していくことが期待される。またここで得られたコミュニケーション力は、他者との関わりが希薄になっている社会の中で人との良好な人間関係を築けるようになり、生きる力となっていく。

3、開催までのスケジュール（予定）

- 5月中旬 子どもコアスタッフ会議
- 6月上旬 子どもスタッフ募集（小学4年生～18才）
19歳以上のボランティアスタッフ募集
- 6月下旬 子どもスタッフ会議スタート（8回開催）
- 7月下旬 ボランティアスタッフ説明会
- 8/22 千葉県こどものまちCBTへ参加
- 8月下旬 開催に向けての準備、大人スタッフ説明会
子どもとサポートの大人との打ち合わせ
- 9月上旬 幼児参加者保護者説明会
小学生以上保護者説明会
- 9/26・27 「ミニ☆いちかわ」開催
- 10/3・4 「ミニいちかわ」開催



<昨年度子どもスタッフ会議の様子>
事前に集まった小学4年生以上の子どもたちが、まちのしくみやテーマ、自分がやりたいブースなどの企画をしました。



4、「ミニいちかわ」のしくみ



①まずは市民登録



③好きなだけ働きます ↑ 保育園
 ↓ 新聞社



②職安で好きな仕事を探します



④働いた分のお給料(子どものまちの通貨)を銀行でもらいます



⑤もらったお金で遊んだり買い物をしたりします

5、「ミニいちかわ」の特徴

①子どもの参画をめざしています。

小学4年生以上の子どもスタッフを公募、子どもたちとユーススタッフが一緒にまちのしくみやブースの内容などを決めていきます。当日参加の子どもたちは、子どもスタッフと共に仕事の内容やまちの自治について考えていきます。子どもたちの手で、まちがどんどん変化していきます。

②子どものコミュニケーション力を育みます

子どもたちは、様々な年齢の子ども同士遊びの中でお互いの違いを認め合い、ぶつかったり協力し合ったりしながら多くの事を経験し、人との関係性を築いていきます。

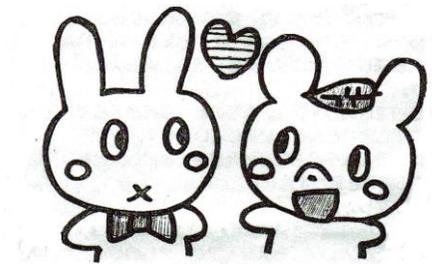
③大人の学びの場…子どもの力を信頼する大人が増えています

大人は子どもたちの活動をサポートしていく中で、様々な子どもの個性に出会い、子どもの声を聞き、子どもたちとの信頼関係を築いていきます。また当日関わる大人は、子どもの力に気づき子どもとの関わり方を見直していく場となっていきます。

◆◆◆「ミニいちかわ」開催へのおもい ◆◆◆

かつて、子どもたちは遊びの中から様々なことを学んでいました。トラブルや失敗に出会った時も工夫し、多くの知恵を働かせ、人とのかかわりの中で解決していました。今、子どもたちの周りには危険な事がいっぱい。禁止や管理が多い中で、子どもたちは自由に遊ぶ場所や時間、仲間さえなくなっています。

「ミニいちかわ」で、子どもたちは何をするか自分で考え、自分で決めます。そして周りの仲間と協力したり衝突したりしていく中で、多くのことを学んでいきます。「ミニいちかわ」を実施していく中で、子どもたちに必要な生きる力が育まれていきます。



ミニいちかわのキャラクター
メティ（メイクシティ）と
ワカチイ（逆から読むといちかわ）

子どもの変化

- ・自分の行為がまわりに影響していく事を肌で感じ、「まちをつくっていく」(参画していく)ことへの興味生まれ、まちを「こうしたい」「もっと生活しやすいまちにしたい」という思いは、社会への参画や市川というまちへの興味、愛着にも通じていく。
- ・自分の考えで決めてもいいんだ、という経験をした子が、他の場所でもその経験を生かしていけるようになる。

大人の変化

- ・大人自身も自然体で楽しむことで、子どもとの良い関係ができつつある。
- ・大人は子どもたちの発想を大事にし、トラブル等が起こった時にも子どもを信じ、自分で解決する権利を奪わず見守ることの大切さを学ぶ場となる。
- ・子どもにとっての“遊び”の大切さを実感し、子どもたちを信頼し暖かく見守る大人が地域が増えていく。



- ★地域の多くの人たちの参加や協力を得る事で、楽しみながら子どもとの関係を築いていく大人が増えていく。
- ★子どもの話を聴き、共感する大人(親)が増えていく。
- ★(お膳立てでなく)子どもが自主的に活動できる場が地域に増えていく



「ミニいちかわ」から日常へ
⇒子どもたちが豊かに育つ
地域社会へ近づいていく

6、「ミニいちかわ」第1回～第12回のデータ

開催年度	日程	会場	参加した子ども		スタッフ
			対象	人数	
2003年	11/15～16	行徳駅前公園	0歳～18歳	1500人	10代～20代 30人 大人 250人
2004年	10/16～17	行徳駅前公園	0歳～18歳	2000人	10代～20代 60人 大人 300人
2005年	10/15～16 22～23	行徳駅前公園 大洲防災公園	0歳～18歳	3200人	10代～20代 60人 大人 550人
2006年	10/7～8 14～15	行徳駅前公園 大洲防災公園	0歳～18歳	4800人	10代～20代 60人 大人 550人
2007年	10/6～7 13～14	行徳駅前公園 大洲防災公園	4歳～18歳	5000人	10代～20代 50人 大人 350人
2008年	11/1～2 8～9	行徳駅前公園 大洲防災公園	4歳～18歳	4050人	10代～20代 85人 大人 270人
2009年	10/3～4 10～11	行徳駅前公園 大洲防災公園	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3100人	10代～20代 80人 大人 430人
2010年	10/2～3 9～10	行徳駅前公園 大洲防災公園	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3300人	10代～20代 60人 大人 320人
2011年	9/23～24 10/1～2	行徳駅前公園 現代産業科学館	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3350人	10代～20代 95人 大人 480人
2012年	9/29～30 10/6～7	行徳駅前公園 現代産業科学館	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3580人	10代～20代 60人 大人 400人
2013年	9/28～29 10/5～6	行徳駅前公園 現代産業科学館	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3935人	10代～20代 55人 大人 530人
2014年	9/27～28 10/4～5	行徳駅前公園 現代産業科学館	4歳～18歳 (幼児は事前申込)	3410人	10代～20代 55人 大人 530人

※2会場での開催となる

※参加対象を4才からとする

※幼児参加者は事前申し込みに

※2009年度千葉教育大賞
(千葉日報社主催) 準大賞を受賞

※会場のひとつを現代産業科学館に。
「ミニ☆いちかわ」と呼ぶ

<主催、連絡先> 特定非営利活動法人 市川子ども文化ステーション

〒272-0132 千葉県市川市福栄1-3-1-101

TEL・FAX 047-395-7670

E-mail: i_ccs@icnet.ne.jp <http://kodomobst.org/> 事務局担当: 勝部久美子